

各 位

上場会社名 タケダ機械株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 竹田 雄一
 (コード番号 6150)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 鈴木 修平
 (T E L 0761-58-8231)

2023年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年7月14日に公表しました2023年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異 (2022年6月1日～2022年11月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,350	百万円 110	百万円 110	百万円 100	円 銭 108.74
実績値 (B)	2,110	176	197	160	174.84
増減額 (B-A)	△239	66	87	60	
増減率 (%)	△10.2	60.6	79.5	60.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年5月期第2四半期)	2,083	119	142	90	98.73

2. 差異の理由

2023年5月期第2四半期累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の収縮から再開に向けて段階的な回復基調で推移しているものの、製造部品の不足による製造納期の長期化からお客様の納入日が下期や翌期にずれ込み、売上高は予想数値を下回りました。また、鋼材価格の高騰による製造原価の増加から利益を押し下げる面もありましたが、納入日の遅延への対応として製造部品の先行手配を図り、生産を前倒した結果、操業が向上した影響が大きかったことから、利益面は予想数値を上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想については、最近の景況にグローバルな金融政策の引き締め、外国為替相場の急速な変動といった景気に対する悪影響を及ぼす動きが加わり、先行きが不透明な状況であります。業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上